

点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

■80■

群馬県にはさまざまな

な全国1位があるが、江戸時代に置かれた関所の数も全国53カ所のうち14カ所で全国1位らしい。

では、なぜ上州に関所が多かったかといえ、上州は信州、越後、会津に中山道、三國街道、会津街道などでつながっているからだ。関所は「入り鉄砲、出女」に象徴されるように、江戸の防御のための軍事的な機能のほか、警察的な機能も担っていたと言われている。これは、徳川家に近い譜代大名が上州に多く配置された理由と共通する。

私も群馬県各地を訪

利根川に関所？

江戸の大動脈に思い

問する時に「関所跡」という看板を見ると、すぐに立ち寄りたくなくなり、多くの関所に立ち寄ってみた。そして、群馬県の関所について、

あることが分かったのだ。その理由を調べてみると、江戸の消費が増加したこともあって、商品を大量にかつ安価に輸送する必要が発生し、鉄道や車がない時代に、その手段として水運が主力だったことが背景らしい。

では、どのような物に加えて、利根川の水運に関連する逸話を思い出した。

このように、利根川は群馬県と他の関東を物流で結んでいたのだ。そして今、

て、もう少し知りたくなって調べてみた。そうすると箱根、木曾福島とともに重要な関所だった碓氷、そして猿ヶ京、国定忠治が捕らえられた大戸などの有名な関所が、いずれも重要な街道沿いにある。ところが、である。五料関所（現在の玉村町）など、利根川沿いにも複数の関所が



岡山和裕（おかやま・かずひろ） 1969年

7月生まれ。兵庫県出身。東京大法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを経て、2018年4月から現職。

が運ばれたのか。上州から江戸には年貢米が多く運ばれたらしい。しかも、それは上州だけでなく信州の年貢米も多く運ばれた。それ以外には、大豆、麻、

の義人「茂左衛門」と詠まれた江戸時代の農民、杉木茂左衛門が幕府に庄政を訴えた真田家五代当主は、江戸の大火の後に西国橋の復旧のための材木の調達

代に利根川をさまざまな物が行き来していたことに思いをはせながら。皆さん、群馬県を「四次元体験」してみませんか？

私は利根川にサイクリングへ出かけた。江戸時